

みづゑ第六十九要目

堤の柳(水彩畫原色版).....	大下藤次郎
風景畫法(一).....色彩.....	石川欽一郎
落葉松(水彩畫原色版).....	大下藤次郎
白峰の麓.....	汀 鷗
朝の富士(水彩畫原色版).....	大下藤次郎
春鳥畫談.....	汀 鷗
關西美術會展覽會を観る.....	大下藤次郎
麓の流れ(水彩畫原色版).....	大下藤次郎
寄書.....問答.....讀者の領分.....寫眞版數葉	

『みづゑ』の發行は私の道樂に過ぎない。
私は多忙なる一ヶ月のうち、五日間を此
雜誌のために費してゐる。編輯上、讀者諸
君に、出来るだけの満足を與ふべく常に
心掛けてゐるが、時も金も不充分である
から思ふやうにはゆかぬ。水彩畫の發展、
趣味の普及、共に主なる目的ではあれど、
一面には自分の面白づくでやるのである
から、紙上に多少の我儘もあらうが、それ
等は大目に見て載きたい。(大下藤次郎)